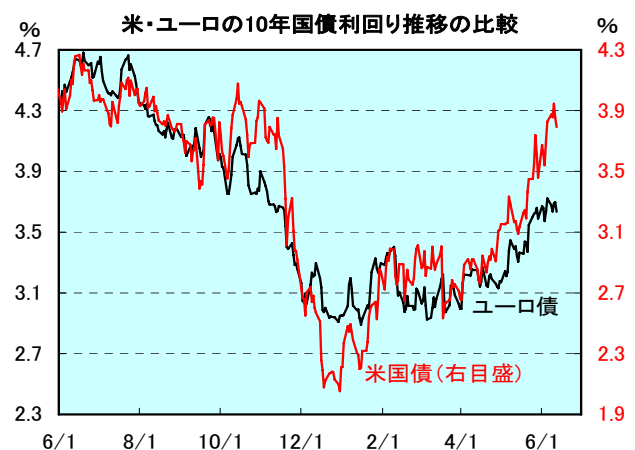
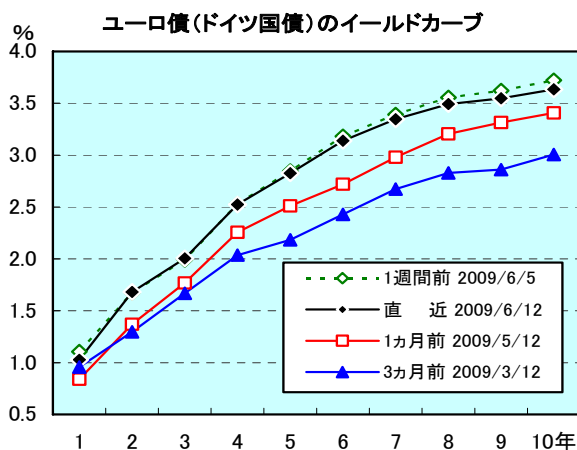


ユーロ債市場の動向(09/6/8~09/6/12)

- ◇ 先週のユーロ債（ドイツ債）相場は反発（金利は低下）。先々週末（5日）に米債が利回り曲線を急激に平坦化させ急落した地合いを引きずり売り先行となったが、10年債利回りで3.75%処では値頃感の買いに支えられ自律反発へ。独4月鉱工業生産が外需の落込みを反映し弱い結果となったことも好感される。しかし週央は、ロシアやブラジルが米債投資から資産分散との報道が嫌気され、米債の下落に連れ安。しかし、翌木曜は、米債の無難な入札をきっかけに続落後に切り返し、週末もユーロ圏4月鉱工業生産が市場予想を下回ったことに加え、甘い株価動向も手伝い、10年債は一時3.6%近くまで戻す。
- ◇ 先週、欧州中央銀行（ECB）政策委員であるウェーバー独連銀総裁やオルファニデス・キプロス中銀総裁らが、インフレ・リスクが顕在化する前に、相応しい金融政策に戻さなければならないと、「出口政策」について言及。しかし、ユーロ圏の物価は直近（5月）では年0%にまで落ち込んでおり、GDP成長率にしても1-3月期は前年比▲4.8%に落ち込んでいるなか、緩和的な金融政策スタンスを云々するのはナンセンスに思われる。むしろ、ここもとの長期金利の上昇について議論されるべきではないだろうか？
- ◇ 本レポートは今週号（6月15日付）をもって終了となります。ご愛読いただきありがとうございました。

（注）金利低下は債券相場の上昇を、金利上昇は債券相場の下落を意味しています



（注）債券は流通利回り。為替レートは出来値。売買に伴う手数料などは考慮していませんのでご注意ください。

（出所）大和証券債券部作成

ユーロ債市場の動向(09/6/8～09/6/12)

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

《手数料などの諸費用について》

- 外貨建て債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。
- 外貨建て債券にかかる取引により取得した外国証券等をお預りする場合には、別途、口座管理料（通常、年間 3,150 円（税込））がかかります。

《ご投資にあたってのリスク等》

- 金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動などにより損失が生じるおそれがあります
 - ・ 外貨建て債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。金利が上昇する過程では債券価格は下落し、逆に金利が低下する過程では債券価格は上昇することになります。したがって、償還日より前に換金する場合には市場価格での売却となりますので、売却損が生じる場合があります。また、市場環境の変化により流動性（換金性）が著しく低くなった場合、売却することができない可能性があります。
 - ・ 金利水準は、各国の中央銀行が決定する政策金利、市場金利の水準（例えば、既に発行されている債券の流通利回り）や金融機関の貸出金利等の変化に対応して変動します。
 - ・ 外貨建て債券は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外貨建て債券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外貨建て債券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、売却時あるいは償還時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。
 - ・ 通貨の交換に制限が付されている場合は、元利金を円貨へ交換することや送金できない場合があります。

《ご投資にあたっての留意点》

お取引にあたっては、「外貨建て債券の契約締結前交付書面」をよくお読み下さい。

商号等 大和証券株式会社

金融商品取引業者、関東財務局長（金商）第 108 号

加入協会 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会